

長野県 木曽青峰高等学校 インテリア科 卒業生は今！

個性を伸ばす学びがここにある

——唯一無二のインテリア科で、未来をデザインしよう。

細田 さん



～プロフィール～

- ・2022(令和4)年度卒業
- ・インテリア科 プロダクトコース
- ・軽音楽部
- ・金沢工業大学

高校時代は・・・

私の高校生活は自分の好きなことに嘘をつかずに過ごした毎日でした。もともと金沢工業大学に進学するためにインテリア科に入りました。その中で部活動や友達との交流に全力を注ぎながら勉強を頑張れたと感じています。

部活動は軽音楽部に所属していて、ドラムを叩いていました。初めてバンドを組んで演奏した曲は今でも印象に残っているし、大学でもドラムを続けている自分のスタート地点となった思い出でもあります。また生徒会では監査委員長をしており、壮行会の運営などの仕事もしていました。

実習では自分の高校生活を思い出しながら、高校生が何を求めているのか、そのために自分にはどのようなことができるのかを考えながら行動に移すことができたと感じています。

進路選択は・・・

○高校↓金沢工業大学に進学することしか考えていませんでした。学校での出会いは私の大きな転機の一つで、苦手だった勉強を教えてくれた友人や進路のことについて親身に対応してくれた先生方との出会いは今後の私の教員生活に大きな影響をもたらしてくれると感じています。

また、大学に進学してからは、さまざまな価値観や個性を持った友人たちと出会いました。自分とは

異なる考え方や行動を目の当たりにする中で、驚いたことや戸惑いを感じる場面もありましたが、それ以上に学ぶことの多い日々でした。

たとえば、身の回りのことに強いこだわりを持つ人、感情のコントロールが難しい場面に向き合っている人、人との関わりが苦手ながらも懸命に努力している人など、一人ひとりが自分らしく生きようとしている姿に触れました。

そうした日常の中で、表面的な印象だけではわからない人の背景や思いを知ることの大切さを実感しました。この経験は、将来教員を目指すうえで「生徒一人ひとりの個性に寄り添う姿勢」の重要性を教えてくれたと感じています。今のうちにこのような気づきを得られたことは、私にとってかけがえのない学びとなりました。

全国募集に応募される皆さんへ

木曽青峰高等学校のインテリア科の特色は大きく2つあると感じています。1つ目は、インテリア科が非常に珍しいことです。大学に進学して出会った人の中で、インテリア科の人は1人しかいませんでした。周りは普通科や建築学科ばかりで、たまに電気科がいる程度です。インテリア科でしかない勉強があります。インテリアに興味がある方、自分らしい学び方を求めている方にとって、木曽青峰高校はきっと良い選択肢になると思います。ぜひ一度、検討してみてください。